

事務事業	68	多文化共生のまちづくり					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	05	平和の推進と国際化への対応					
施策	02	国際化に対応した地域社会づくり					
事業内容							
目的	日本人と外国人との交流を促進し、文化、歴史等の相互理解を深めることにより、多様な文化を持つ人々が共に生きる地域社会を形成します。						
対象・手段	しんじゅく多文化共生プラザを拠点に地域住民や活動団体のネットワーク化を図るとともに、外国人を含めた様々な人や団体が交流し、互いの理解を深めることができる事業を展開します。また、外国人への情報提供や、相談業務を実施することにより総合的な事業として推進します。						
成果(事業が意図する成果)							
しんじゅく多文化共生プラザを拠点に日本人と外国人との交流を進めるとともに、地域住民や活動団体など多様な主体の参加により多文化共生社会を実現することができます。また、外国人に必要な生活情報や行政情報を提供することができます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
多目的スペースの利用件数	2件/日×28開館日/月=56件/月	(平成19年度)に (56件/月)の水準達成					
外国語版文化・生活情報等ホームページへのアクセス件数	外国人登録者数約5万人が毎月1回アクセス	(平成19年度)に (50,000件/月)の水準達成					
外国語広報紙の配布場所	外国語広報紙の普及 配布設置場所 公共施設、小中学校、保育園、幼稚園、日本語学校、NPO団体、ボランティア団体等	(平成19年度)に (265か所)の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1	件/月	0.00	56.00	56.00	56.00	多文化共生のまちづくりを進めていくためには、多くの外国人の方に、地域で生活する上でのマナーや生活習慣等を周知し、理解してもらうことが必要です。 目標値については、18年度に目標水準を達成したため、19年度はそのことを踏まえて、新たに目標を設定しました。
	実績1	件/月	0.00	43.00	45.00	52.00	
	= /	%	0.00	76.79	80.36	92.86	
	目標値2	件/月	0.00	0.00	30,000.00	50,000.00	
	実績2	件/月	0.00	0.00	39,196.00	57,428.00	
	= /	%	0.00	0.00	130.65	114.86	
	目標値3	か所	0.00	0.00	240.00	265.00	
	実績3	か所	0.00	0.00	265.00	285.00	
	= /	%	0.00	0.00	110.42	107.55	
事業の実施内容							
平成18年度	しんじゅく多文化共生プラザの管理運営(各種講座、プラザ開設1周年記念事業) ネットワーク事業の推進(連絡会、分科会 防災 子どもの教育・学習支援 情報提供 イベント) 外国人への情報提供(外国語版生活情報紙、外国語版広報紙、外国語版文化・生活情報等ホームページ) 外国人相談窓口の運営(本庁舎1階区政情報コーナー、しんじゅく多文化共生プラザ外国人相談コー						
平成19年度	しんじゅく多文化共生プラザの管理運営(各種講座、啓発パネル展)多文化共生実態調査の実施 ネットワーク事業の推進(連絡会、分科会 防災 子どもの教育・学習支援 情報提供 イベント) 外国人への情報提供(外国語版生活情報紙、外国語版広報紙、外国語版文化・生活情報等ホームページ) 外国人相談窓口の運営(本庁舎1階区政情報コーナー、しんじゅく多文化共生プラザ外国人相談コー						

部名称		地域文化部		課名称		文化観光国際課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	23,290	49,694	53,199	
	人件費	千円	0	9,049	15,928	15,877	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	32,339	65,622	69,076	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	32,339	65,622	69,076	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	32,339	65,622	69,076	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.80	1.60	1.60	
	非常勤職員		0.00	1.00	1.00	1.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>17年度に設置した「しんじゅく多文化共生プラザ」は、19年度には年間25000人の方が利用する施設となりました。多くの外国人区民がいる中では、利用者の一層の拡大を図るとともに、日本人と外国人の交流を促進させることが課題です。また、今後は、多文化共生プラザを拠点とした、地域住民や活動団体のネットワーク連絡会が主体的に事業を運営できる態勢作りが課題です。そして、19年度に実施した多文化共生実態調査では、「ことば」や「地域での交流」、「災害時の対応」等の課題が浮き彫りになりました。実態調査で明らかになった課題については、今後の施策に反映していくことが必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	ホームページの改善により、19年度のアクセス件数は18,232件増加し、広報紙の配布場所も20箇所増やすことができました。また、多文化共生プラザの利用者も7,249人増加するなど、それぞれの目標に対して利用者を大幅に増やすことができました。				
	実施の成果	3	ホームページや毎月の情報提供を行なったことにより、多くの外国人がプラザを拠点とした各種事業に参加することは、外国人相互や日本人と外国人の交流促進に大いに成果があるものと評価しています。				
	効率性	3	ネットワーク事業は、テーマ別に分科会を設け、参加者の知識や経験など専門性を活かすことができました。また、広報紙や生活情報紙の配布先の拡大や、ホームページの毎月更新など、効果的・効率的に検討を行い、情報提供ができるよう工夫しました。				
	行政の関与	3	区の人口の約1割が外国人であり、区として日本人と外国人が共に生活するまちづくりを推進する必要があります。				
	妥当性	3	地域住民や活動団体のネットワークが主体となった事業展開や、外国人を対象とした情報提供や相談業務の実施は、多文化共生の推進のために必要なことであり、目標の設定に当たっても適切であると評価しています。				
	施策寄与度	3	国際化に対応した地域社会づくりのためには、日本人と外国人が共に生活する多文化共生のまちづくりを推進することが重要です。この事業を行うことは、施策目的達成に大いに寄与していると評価しています。				
総合評価	平成19年度の評価・3ヵ年評価は、いずれも「A」評価と評価します。19年度は多文化共生プラザの利用者が年間で7000名（対前年比1.39倍）増加したほか、ホームページのアクセス件数や広報紙配布場所も大幅に増やすことができました。また、実態調査を行うことにより、外国人・日本人それぞれの意識や多文化共生の課題を明らかにすることができた等、調査・情報提供・施設利用等の面から、多文化共生のまちづくりを大きく進めることができました。3ヵ年の取組みとしては、多文化共生を専管する区組織や拠点となるプラザの設置、実態調査の実施等、多文化共生のまちづくりに関する事業を総合化し、飛躍的に進めることができたためA評価とします。						
	<b>A</b>						
改革方針	多文化共生プラザは、啓発パネル展や国際理解講座等の取組みを通して、更なる利用者の拡大や日本人・外国人の相互理解を進めていきます。また、ネットワーク連絡会は、各部会の活動等を通して、協議会が自主的に運営できる態勢づくりを進めていきます。そして、実態調査で明らかになった課題については、区・地域・NPO団体等が一体となって、協働の取組みの中で、日本語学習の効果的な支援や地域での交流促進、災害時の情報提供の多言語化等に取り組んでいきます。						
	外国人が人口の1割を占める新宿区の特徴を積極的に捉え、今後も、新宿区第一次実行計画「86地域と育む外国人参加の促進」や経常事業における各事業の実施の中で、多文化共生のまちづくりに積極的に取り組んでいきます。						
過年度評価							
18年度 <b>A</b>							
17年度 <b>A</b>							
16年度							
15年度							
方向性							
4							
拡大							